

《みんなの北三瓶・・・北三瓶は一つです》



令和7年9月18日 第196号

発行：北三瓶まちづくりセンター



「石見銀山世界遺産研修」を開催

8月30日、北三瓶まちづくりセンターにおいて、石見銀山世界遺産登録20周年意識醸成事業『石見銀山世界遺産研修』を開催しました。

講師は、平成19年7月に石見銀山遺跡が世界文化遺産に登録された際に中心となってご尽力いただき、また、長きにわたり石見銀山遺跡の発掘やその魅力を発信されてきた山口町出身の大國晴雄さんをお願いし、『わたしと石見銀山－45年の関わりと想い－』と題して講演いただきました。

当日は、残暑厳しい暑い日にもかかわらず研修室がほぼ満席となる約60名の方が参加され、真剣に聴講されていました。

講演の内容は、世界遺産としての石見銀山の本当の魅力や我々が知り得ない発掘の苦労話、世界遺産登録時のエピソードなど、興味をかきたてるものでした。

この研修は、三瓶ブロック（池田、志学、北三瓶）のまちづくりセンターが主催したため、北三瓶地域外からの参加者もありました。また山村留学センター「こだま学園」の留学生も全員参加してくれました。

当北三瓶地区は、石見銀山遺跡から少し距離のある地域ではありますが、この研修を受けたことによってより近しいものとなったと思っています。どうぞ、これを機会に石見銀山や大森の町並みを訪ねていただければ幸いです。





さる対策 第14弾！

国引きの丘に現れる！ 公的施設との検討会会議



猿の動きがないと思っていましたが、7月後半から山口—志学線で横切る猿を何度か目撃。8月になってから岩清水あたりで目撃。この近辺でよく見るなあ？と思っていました。下多根・中津森方面の猿に注目する中、大水原（山口）に気が付かなかったのは、猿が誰も見えない所に休憩所を作っていたのではないかなんと盆前から国引きの丘や青少年交流の家の裏山に潜んでいました。

福間聖治さんが旧道を草刈りし、見つけた場所は、草を交互に踏み倒した猿独特の跡、ゴミが散乱した場所でした。そしてとうとう徳原の田に入り、梨を食べるという出来事に「許せん」と大水原奇襲大作戦を決行しました。

その後、すぐに検討会を実施しました。

今回はサヒメルや青少年交流の家の職員、大谷さん（ライズ）、岩下さん（県央事務所）多根・山口の煙火免許取得者・猟銃免許保持者が集合しました。



猿はキャンプ場で簡単に餌を得ることに成功し、誰もいない旧道でゆっくり餌をたべていたのではないのでしょうか？

全国で観光地のあるある。めずらしいサルに餌をあげる観光客。簡単に捨ててしまうゴミ。これをしてしまえば、人里で行っている追い払いは無意味になってしまいます。



これを機に公的施設でも一緒になって猿が来ないように協力してもらいたと思います。今後、計画的な追い払いを数人で行う。山口チームで福間牧場に猿はいれない。野城チームはダムから絶対いれない。下多根・中津森・小豆原は多根チームで追い払う。上多根は山口チームと共に追い払う。町全体で田んぼを守るです。収穫の季節です。自分たちの食べるものは守り、すみつかないよう脅して追い払いましょう。上立石（徳原地区）では 群れで出る時、よく被害に遭います。徳原の伊藤さんがかかしを作ったそうです。

収穫まで守ってほしいです。

また、無防備な畑は被害が自分事になります。簡単な電気柵でも周りにはっておくのもいいと思います。熊の目撃情報も入っています。鳥獣害グループLINEに入りたいという方はまちセンへTELしてください。



おらの田んぼに入るんじゃねーぞ

0854-86-0478

9月の スマホ・パソコン教室

10月1日から始まる「マイナ救急」について情報提供が有りました。マイナ救急では、救急隊員が傷病者のマイナ保険証（健康保険証の利用登録をしてあるマイナンバーカード）を活用し、傷病者が過去に受診した病院や処方された薬などの医療情報を閲覧します。傷病者や付き添う家族の負担を軽くするとともに、傷病者がより適切な処置を受けるのに活用します。



あなたの命を守る「マイナ救急」



～もしもの時に備えてマイナンバーカードを持ち歩きましょう～



「マイナ救急」に関するお知らせ

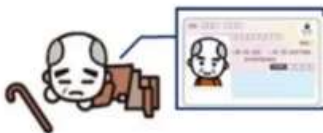
令和7年10月1日から全国一斉開始

総務省消防庁の HP より



疑問などがありましたら、北三瓶まちセンにおたずね下さい。
0854-86-0478

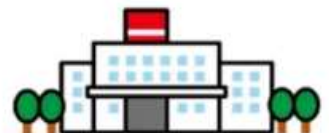
マイナ救急保険証を活用することで期待されるメリットの一例



自分の病歴や
飲んでいる薬を
救急隊に正確に伝える
ことができる



円滑な搬送先病院の選定や適切な処置が実施できる



搬送先病院で
治療の事前準備ができる

映画「オレンジ・ランプ」上映会

9月13日、映画「オレンジ・ランプ」を北三瓶まちづくりセンターで上映しました。
（共催：島根県、大田市、大田市地域包括支援センター）

映画の内容は、「認知症になったら人生終わりなんかじゃない！」と、39歳で若年性認知症と診断されても、働きながら講演活動が続ける実際の人物に基づく物語でした。

なお、9月21日は世界アルツハイマーデー（認知症の日）であり、9月はアルツハイマー月間として啓発活動が各地で行われています。今回の上映会も、その一つです。題名の「オレンジ・ランプ」には、認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすランプ、この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりへの願いが込められています。

映画を見られた方がアルツハイマー型認知症について少しでも理解を深めていただき、更に、その事を周りの方々にも伝えていただければ暮らしやすい社会づくりにつながるのではと思いました。



情報いろいろ

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025



令和7年9月下旬頃、調査員が各世帯を訪問し、調査書類を配布します。

10月1日時点での世帯の状況を

インターネットでご回答いただくか、紙の調査票を郵送又は調査員に提出いただくかのいずれかの方法で、ご回答いただけます。

第45回 さんべ祭

日時：10月12日(日) 午前10時～午後3時

場所：国立三瓶青少年交流の家



発表：北三瓶っ子太鼓クラブ、多根神楽団

敬老の集い

日時：10月18日(土) 午前10時～午前11時30分

場所：山村留学センター 三瓶こだま学園

「北三瓶っ子太鼓クラブの演奏」

久しぶりに太鼓の音を体全体で感じてみませんか？

参加対象者は令和7年度75歳以上になる方。別途案内しています。

参加費：昼食希望者は食材費500円 申し込み締め切り10/10(金)



大田市長選挙 投票日(予定)

10月19日(日) 午前7時～午後6時

投票所：山口町 北三瓶まちづくりセンター / 三瓶町 多根自治会館

